

平成24年度私立学校初任者研修 関東地区千葉県研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修関東地区千葉県研修会が、6月13日(水)から15日(金)の2泊3日の日程で、ホテルグリーンタワー幕張で開催され、千葉県内から83名が受講した。

まず初めに、千葉県私学団体連合会会長で、学校法人市川学園理事長・学園長である古賀正一氏の講演「グローバル時代における私学の役割と気概」では、私学の教員としての自覚をうながす内容であった。



午後からは、木更津総合高等学校副校長、真板龍太郎氏と市川中学・高等学校副校長、及川秀二氏による「専任教員の職務」についての講演があり、私学をめぐる厳しい社会情勢を意識させられた。

また、千葉県警察本部の上席相談専門員である遊間千秋氏による講演「問題を起こす生徒の理解とその対応について」では、問題行動を起こす生徒への対応など、生徒指導をめぐる具体的な内容であった。



研修2日目は、午前中に、元国内航空会社客室乗務員でイメージコンサルタント通訳ガイドである日野聖保子氏を迎えて、「社会人の為のビジネスマナーについて」をテーマに、あいさつや電話対応など、社会人としての基本的なマナーを、実際に体を動かして実践しコミュニケーションを学ぶ講義と実習を行った。



また、千葉商科大学附属高等学校副校長と遠藤行巳氏と成田高等学校教頭、田中康之氏による「学習指導」の研修が行われた。授業こそが教師の基本である、という教育の原点を考えさせられる講義であった。

午後からは、「ホームルーム(学級)経営」を、千葉明德中学・高等学校、教頭、宮下和彦氏と聖徳大学附属女子中学・高等学校副校長、萩原昇氏の先生方に指導を受け、初任者にとって、大いに刺激になった。

その後、グループに分かれての自由討議が行われ、議題は「自分たちの理想とする私立中学・高校を、千葉県内に開校させること」というテーマで、各自の教育観・学校観・プラン力などが試される内容である。受講者たちは、午後3時半から夕食をはさみ、正規の研修時間である夜8時半を過ぎても熱心に話し合いを続けていた。多くのグループでは、宿泊所に戻ってから深夜まで討議を続けていた。

研修3日目には、前日の各グループによる「理想の学校」の発表が行われた。前日の深夜まで話し合われた成果を、指導員および他グループの前でプレゼンテーションを行い、その後閉会式での修了証の授与で3日間の研修を終了した。